

# 1月の「つどい」はお休みです

令和7年新年会(1月23日)開催のため、1月の「つどい」はお休みします。

※2月の「つどい」は東区にて2月20日(木)に開催予定です。



12月の「つどい」は12月20日(金)手稲区民センターで18名の参加をいただき開催しました。「ちょこっと学習会」は、手稲区社会福祉協議会の村上様より、「日常生活自立支援事業」について説明いただきました。この制度は、「ひとりでは日常生活に不安がある方が、地域で安心して生活できるよう、社会福祉協議会がご本人との契約に基づき、福祉サービス利用などのお手伝いをします。具体的には生活支援、金銭管理、財産保全などの支援を通じて、認知症高齢者や障がいがある方々の権利擁護、自立支援を目的とした事業」とのことでした。

その後のいつもの語り合いでの皆さんの発言概要は、以下のとおりです。

## ❁父を介護 息子

要介護1の父を介護中です。脳梗塞からの脳血管性認知症で癌も患っています。介護の手探り状況でわからないことだらけですので勉強のため初参加しました。オレンジサポーターにも登録し、父のための成年後見の手続き中です。

## ❁夫を介護 70代妻

夫は要介護2です。一昨日かでの家族の会に行き、今日のつどいや小規模多機能などいろいろと教わりました。病院に連れて行くのが大変で、何年もかかりましたが、今年1月に誘ったらなぜかうまく受診でき、介護認定申請をしました。今、デイサービスに週4日嫌がらずに通所してくれています。最近、介護更新時の調査員訪問の際、本人の前で話しづらい内容を主人が横に居るのに玄関で聞かれて、主人がすごく怒りました。この対応はとても困りました。

## ❁90代夫を介護 妻(会員)

主人は瞬間を生きていますので、過去と先のことは言いません。病院に連れて行くときも、車と一緒に乗って着いてから説明します。デイサービスも迎えがきたよと伝えます。行かない時もありますが。また、病院の先生には普段の様子をメモに書いて受付で渡しています。

## ❁会員から

私も夫を病院に連れていった時は、メモをびっしり書いて先生に渡してもらいました。また調査員訪問では本人の前で本人に不安を与えてしまう対応の経験があり、母に激怒された記憶があります。ケアマネージャーさんに直接言いつらいときは、主任ケアマネさんなどに話して、改善してもらおうといいと思います。

## ❁会員から

私の母も元看護師で病院に詳しく、受診拒否があり大変でした。息子の言うことは聞きませんでした。経験者からの助言で、かかりつけ医から受診を進めてもらい、うまく行きました。

## ❁会員から

認知症の人は言葉のニュアンスに敏感で、聞いたことが印象に残り、悪いこと否定的なことにはてき面に反応するようです。言葉遣いには気を付けなければいけないと思います。ご本人が居心地よく穏やかに暮らせるように、家族や周りの人のサポートが大事だと思います。

## ❁ご本人(地域包括支援センター職員とご一緒に)

去年函館から手稲区に引っ越してきました。一人暮らしです。今日は一人で来ましたが、まだバスなど慣れていません。娘夫婦がすぐ近くにいますが、迷惑はかけたくないし、嫌われないようにしなきゃと思っています。

## ❁会員から

私の経験から、一番気を付けていたのは笑顔での介護です。常に笑顔でいると介護される方も笑ってくれました。そのために時々、家族の会に出かけて愚痴を聞いてもらうこともストレス解消法の一つでした。

## ❁会員から

今、共生社会と言われていますが、すぐに「認知症です」とはなかなか言えないと実感します。「認知症になっちゃったよ」と軽く言える社会になれば、もっと生きやすいのかなと考えています。また、苦勞することも幸福の一つの条件、苦勞もどっかでそれが幸せに繋がると信じることもあり得ると思えるのですが。